

# 学びの風便り

リーディングスクール通信 10 R5.10.13

発行：松本市教育委員会 教育研修センター



## 特集！学びの改革のあゆみ 清水中学校・明善小学校

### 清水中学校 表現力が育つ ～すべての活動を通して～

清水中学校では、「表現力が育つ～すべての活動を通して～」を全校研究テーマに掲げ、判断の根拠（理由）を添えて表現できる生徒の育成を目指しています。そのための柱の一つとして、総合的な学習の時間「清流の時間」における探究の学びを大切にしています。ここでは、探究の過程における「まとめ・表現」について、2年生が高校生から学んだ姿をお伝えします。

#### 高校生に学ぶ探究の進め方

9月末、2年生は「清流総合発表会」において、自身の探究について中間発表を行いました。それに先立ち、9月14日に松本県ヶ丘高等学校探究科の高校生80人を招いて、探究の過程における「まとめ・表現」について学ぶ場を設けました。中学生は、地域の方と一緒に働いた職場体験学習から学んだ成果をスライドにまとめ、端末に提示しながら、高校生に発表しました。高校生からは、「テーマ設定の理由がしっかりしている」「インタビューをたくさんしてあり、よく調べてきたことが伝わる」など、中学生にとって励みになる言葉が贈られました。



高校生のアドバイスを熱心に聞く中学生

同時に、「探究は、問いに対する仮説があって、それを検証していくものだと思う。特に仮説をしっかきもつことが大事。探究のサイクルを自覚して回せるといい」「インタビューやアンケートの回答を

ただ紹介するだけでなく、なぜ大人がそう考えているのか、その奥にある大事なことは何かまで深めて発表できるといい」など探究活動の先輩らしい鋭い助言もありました。後半には、高校生が自身の探究について中学生に発表する場も設けられました。

まとめの学年集会では、普段の学年集会ではあまり発言しない生徒が自分の学びを語る姿が次々と見られました。中学生は「まとめ・表現」に関するこの日の学びを基に、発表内容や発表の仕方を見直し、9月末の「清流総合発表会」に臨んでいきました。



自身の探究について発表する高校生

まとめの学年集会での姿は、まさに表現力が育った姿の一つだと言えます。思いをかけて職場体験学習や高校生への発表に取り組んだからこそ、高校生からの評価に手ごたえを感じたり、鋭い助言に思い知らされたりしたのだと考えます。その結果として、自身の内から湧き上がってくる喜びや気づき、新たな課題を表現したくなったものと思います。今後も総合的な学習の時間はもちろん、すべての活動を通してより一層、表現力が育っていくことが期待されます。



明善小学校では、「幼年教育における『あそび』の中の『学び』を読み取り、園小接続のあり方をさぐる」を研究テーマに、「生活科の充実」と「学びノートの活用」を軸に、子どもたちの興味関心を大切に捉え、日々の授業に取り組んでいます。

1年生の2学期の生活科は、「うれしいな1年生！みんなでやりたいこと、しりたいこと」をテーマに、グループ別に計画、実行しています。子どもたちの様子と、先生方の支援についてお伝えします。

## 「子どもたちが、何をやりたいって言うのか 楽しみです！」

2学期最初の研究会の折に、2学期の子どもたちの活動予定について先生方に伺いました。「何が始まりますかね〜」「子どもたちが、何をやりたいって言うのか楽しみです」と先生方は口々に仰いました。この時点では生活科で何をするか決まっておらず、子どもたちから湧き出てくる「やってみたい！しりたい！」を大切に活動しようとする先生方の姿に触れた思いでした。先生方は、「1年生だから、まだできない」ではなく「幼稚園でたくさんあそび学んできた子どもたち、1学期を終え学校生活に少し見通しを持った子どもたちは、できることがたくさんあり自ら学ぶパワーを持っている！」と捉えています。9月上旬、子どもたちの「やりたい！しりたい！」を元にした学習がスタートしました。

## 「みんなでやってみたい！しりたい！」

研究主任でもある1年生担任の中島先生は、子どもたちが「やってみたい」を自覚できるように「やってみたい掲示板」を用意し、思いついたときに紙に書いて貼れるようにしました。各自の意見を1学年2学級がみんなで共有、たくさんの「やってみたい！しりたい！」が集まりました。



みんなの「やってみたい！」が付箋で集まった

先生は、それぞれの興味関心をもとに「えんそくグループ」「おまつりグループ」「やきいもグループ」等、9つのグループに分け、各グループの計画をおよそ何月頃に実行するかを目安と、決めたことは「学びノート」に書くことを伝えました。その他の細かな制約は無し。「学びノート」を手にも、グループの話し合いが始まりました。

## 「保育園でやったことあるよ！」

やきいもグループでは、「場所は…校庭かな？燃やすから危ないよね。紐が要る！コーンと紐だ！」



保育園での経験をもとに話し合い

と安全に気を配ったり、「待っている間、保育園では〇×クイズをやっていたよ。」と園での経験を元にしたりして考える子どもの姿がありました。また、「一緒にじゃがバターもやりたいけど…バターは高いからマーガリンでもいいか。」など家庭等で見聞きしたことから経済にも目を向けていました。先生は必要に応じて「これはどういうこと？」「それについて考えてみて」と助言するものの、基本的には話し合いを子どもに任せ見守る姿勢です。今後、実行に向けてどのように子どもたちの活動が展開されていくのか楽しみます。